

{ 2018年7月登録決定 }



World Cultural Heritage

世界文化遺産

長崎と天草地方の
潜伏キリシタン
関連遺産

Hidden Christian Sites
in the Nagasaki
Region

長崎県
熊本県
長崎市
佐世保市
平戸市
五島市
南島原市
小値賀町
新上五島町
天草市

日本独自の宗教的伝統

潜伏キリシ タンとカクレ キリシタン

NPO法人

長崎巡礼センター
事務局長 入口 仁志

正式登録までの経緯



平成19年1月

暫定一覧表に記載

平成27年1月

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」として推薦書を提出

同年9月～10月

イコモスの現地調査

平成28年2月

推薦取下げ

平成29年2月

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」として推薦書を提出

同年9月

イコモス現地調査

平成30年5月

イコモスの勧告

同年6月～7月

第42回世界遺産委員会

長崎県の教会分布図



12の構成資産

宣教師不在の中ではぐくまれた
日本独自の宗教的伝統

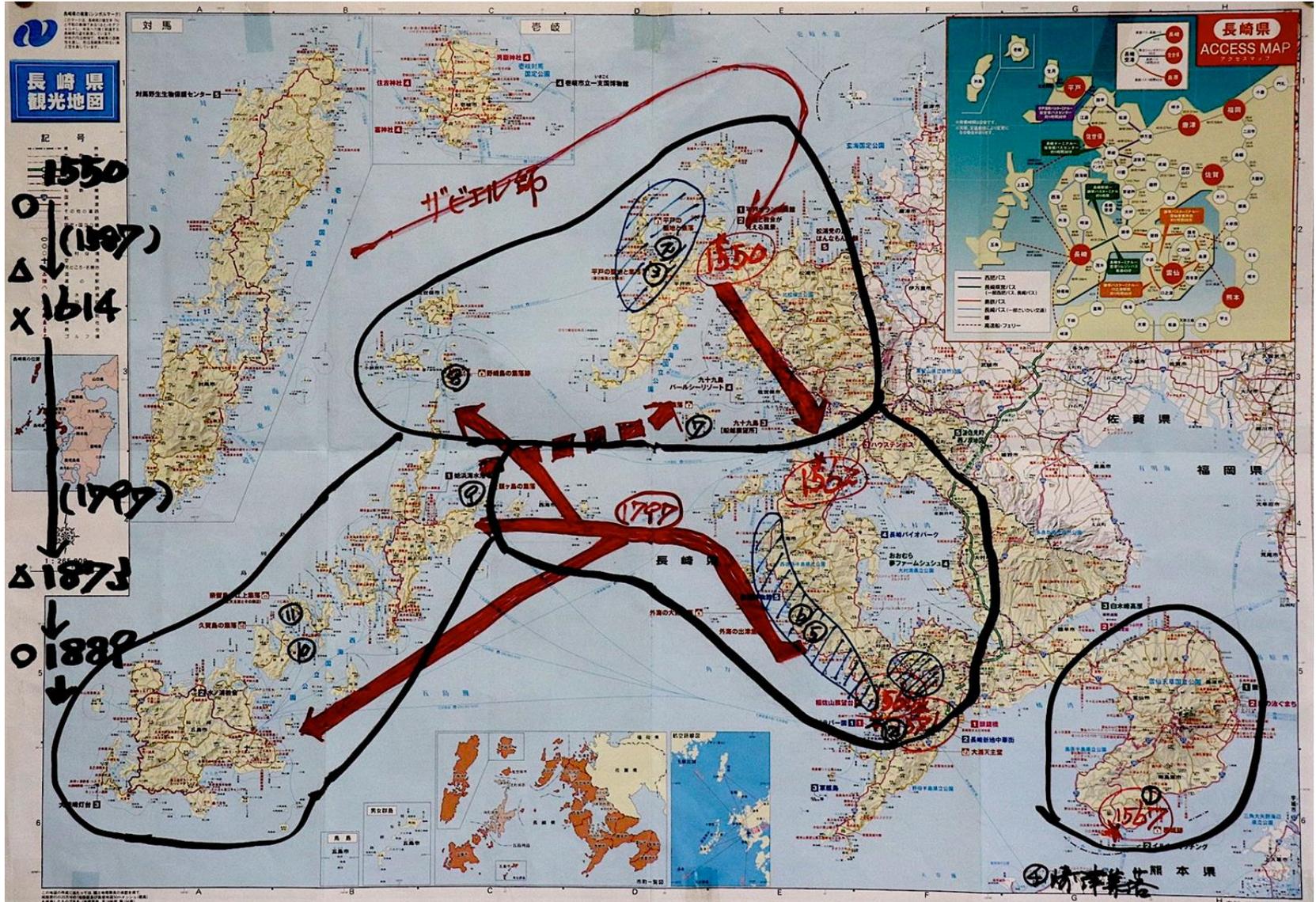
「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、キリスト教禁教による宣教師不在の中、神道や仏教などの日本の伝統的宗教や一般社会と関わりながら信仰を続けた潜伏キリシタンの伝統のあかしとなる遺産群である。

それらは、国内に宣教師が不在となってキリシタンが「潜伏」したきっかけや、信仰の実践と共同体の維持のためにひそかに行った様々な試み、そして宣教師との接触により転機を迎え、「潜伏」が終りを迎えるまでの歴史を物語る12の構成資産からなる。

これらが長崎と天草地方の半島や離島に点在しているのは、大航海時代にキリスト教が伝わったアジアの東端にあたる日本列島の中で、最も集中的に宣教が行われた場所だからである。



長崎県の信仰の移動図





燒罪殉教地



根獅子 おろくにん様



信仰復活之地



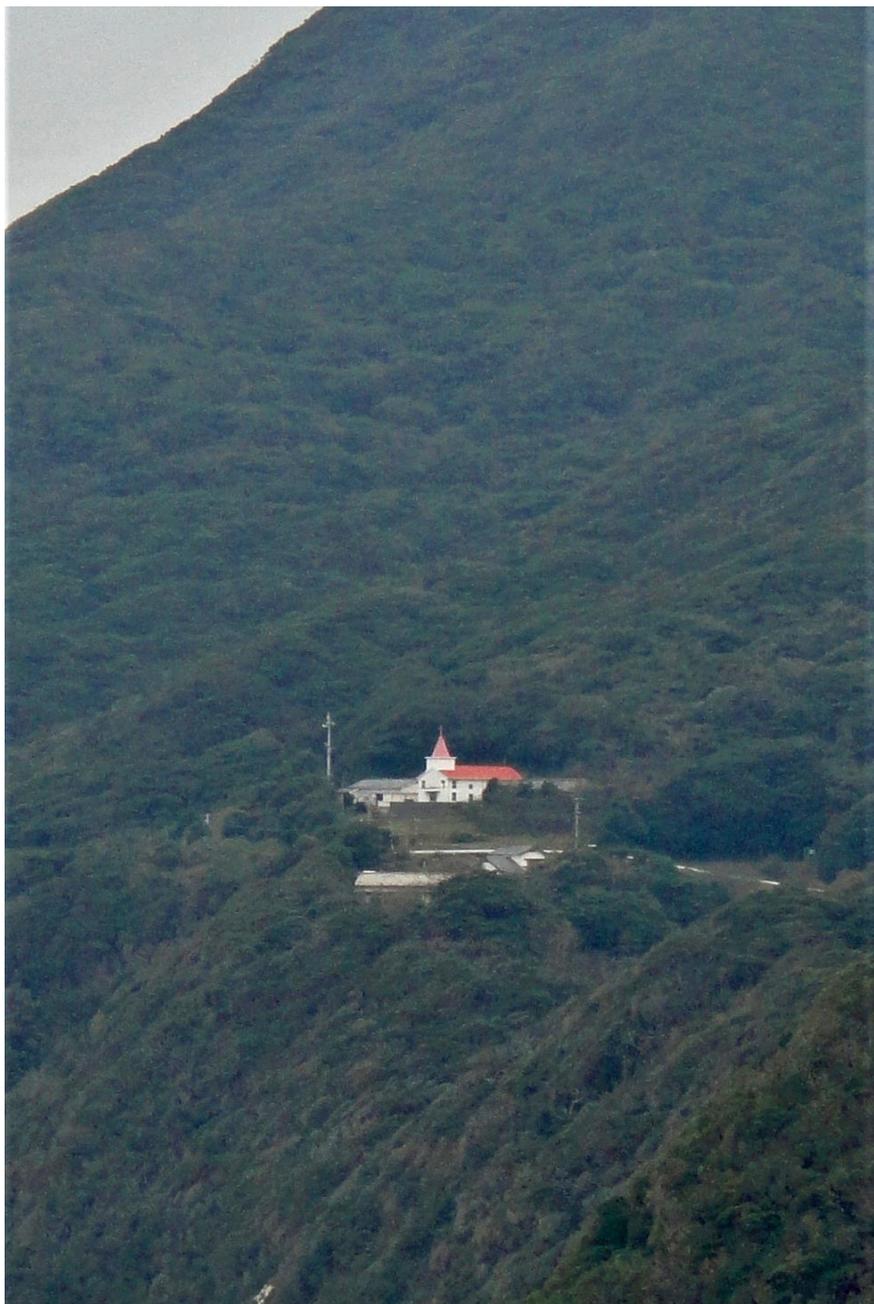
野首教会堂



繁式教会堂



嵯峨島 千疊敷



赤波江教会堂遠景



若松大浦教会堂



五島美人のマリア様

聖ヨゼフ堂の碑

聖ヨゼフ堂跡

徳川家康の禁教令発布（一六一四年）から二百五十年後の一八六五年三月十七日大浦天主堂において、プティジャン神父により信徒が発見された。当時も幕府の厳しいキリシタン禁教は続いていた。

浦上のキリシタンたちは四つの秘密教会を造り、大浦天主堂の巡回教会として神父を迎え、洗礼を受け、教理の勉強をしていた。この地がその中の一つ「聖ヨゼフ堂」跡である。

当時ここは、高木仙右衛門の屋敷であった。一八六七年七月十五日早朝、仙右衛門と次男敬三郎は寝込みを襲われ捕らえられた。この事が、浦上の全村総流配となった浦上四番崩れへとつながった。

仙右衛門の長男源太郎は、キリシタン復活後、日本最初の邦人司祭になっていく。信徒発見百周年（一九六五年）に記念碑を建て、信徒発見百二十五周年（一九九〇年）にこの説明板を設置した。

『浦上四番崩れ』百五十周年（二〇一七年）七月、加筆修正した。
カトリック浦上教会

聖ヨゼフ堂跡

聖フランシスコ・ザベリオ堂跡

一六一四年、徳川家康の禁教令発布から二百五十年後の一八六七年、大浦天主堂における劇的な信徒発見当時も幕府の厳密教会を設け、大浦天主堂の巡回教会として密かに神父を迎え、四つの「聖フランシスコ・ザベリオ堂」跡である。この地がその中の一つ、中野郷（中野村）の中心人物百十四名が救、津和野、福山へ流され、一八七〇年（明治三年）一月、残された信徒は二十藩二十二人か所に総流配となった。これが「浦上」が未永く人々の心のうちに生き続けることを信仰伝承を成し遂げた彼らの心の「旅のはじまり」の記念にこの説明板を設置した。信徒発見百二十五年（一九九〇年）の記念にこの説明板を修正した。カトリック浦上教会

聖フランシスコ・ザベリオ堂の碑

一八六七年秘密の教会がここにあった

聖フランシスコ・ザベリオ堂跡



聖クララ堂跡



善長谷教会堂遠景



枯松神社



放虎原殉教地



有馬川殉教地

五島巡礼ツアーのために

五島巡礼手帳 ¥1,200

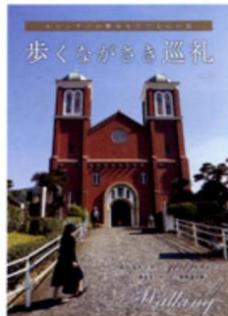
カトリック長崎大司教区認定

- 1、巡礼手帳（スタンプ帳）
- 2、オリジナル巡礼バッジ



※添付資料

- 五島市・新上五島観光情報パンフレット
- 「五島巡礼」53ヶ所巡礼マップ / 西彼半島巡礼マップ
- 長崎県の教会堂 / 長崎市巡礼マップ



(スタンプ押印ページ)